

美原区ビジョン 2025 の進捗状況

○基本方針 1 : 「安全、安心に暮らせる」

関連するSDGsの目標



・ みんなで取り組む防災、防犯活動

災害による被害を最小限に抑えるためには、災害が発生する前からみんなでつながり、いざというときに自助・共助・公助が連携して機能することが重要です。災害時に誰一人取り残さないよう、新型コロナウイルスなどの感染防止や男女共同参画の視点をもって、各校区における地区防災計画の策定や分散避難場所の確保、避難行動要支援者への支援、備蓄物資のさらなる充実を図ります。また、堺市総合防災センターを活用し防災に関する知識や技術の普及に取り組むなど地域防災力の強化をめざします。

事件や事故を未然に防ぐため防犯カメラ・防犯灯の設置や自主防犯パトロールの強化、子どもの安全見まもり隊、こども 110 番の家の推進など、みんなのつながりにより地域の安全確保を進めます。

<主な取組事例>

○ 防災研修 美原区役所職員の防災意識及び対応力の向上のため、堺市総合防災センターの訓練プログラムに参加
○ 避難所でのプライバシー確保 防災訓練や出前講座の際にパーティションの組立体験等の講義を実施
○ 防災意識・対応力の充実 単位自治会による備蓄物資の確保や自主防災組織の活動による防災訓練の実施
○ 地域のリーダーの育成 これまで、56名の防災士資格の取得を支援 また、区内の防災士（92名）に対し、さらなるスキルアップのため、防災講習会を毎年1回実施

<KPIの検証>

自治会加入率が低迷するなか、コロナ禍の影響もあり、目標値には達しませんでした。一方、校区で策定する地区防災計画は、目標値の全校区策定には至りませんでした。2025年度中には、5校区が策定する見込みです。

KPI	計画策定時の値	目標値	最新値
地域の防犯・防災活動に取り組んでいる人の割合	2018年度 13.1%	2025年度 20.0%以上	2024年度 8.4%

すべての校区で地区防災計画を策定する	2020 年度 2 校区	2025 年度 全 6 校区	 2024 年度 4 校区
--------------------	-----------------	-------------------	---

※最新値の矢印は、ビジョン策定時の値と比べた増減の状況を表しています。

・ 孤立させないコミュニティ力の強化

区民が安全、安心に暮らすには、みんながつながり、社会から孤立することを防ぐことが大切です。

災害時における要配慮者への支援や子育て世代へのアドバイス、高齢者が地域で活躍できる取組など各世代がつながり見守ることにより、みんなで安心確保に努めます。

<主な取組事例>

<p>○ 共助に備えたコミュニケーション</p> <p>区内で行われる不特定多数の方が来場するイベントにおいて、自治会への加入促進活動を実施</p> <p>その他、防災訓練・地域のまつり・イベント等の実施を支援</p>
--

<KPI の検証>

自治会加入率が低迷するなか、コロナ禍の影響もあり、目標値には達しませんでした。美原区の特徴である単位自治会の支援の強化が求められます。

KPI	計画策定時の値	目標値	最新値
ご近所の気になる方への安否確認や話し掛けを行っている人の割合	2018 年度 11.7%	2025 年度 18.0%以上	 2024 年度 7.2%

※最新値の矢印は、ビジョン策定時の値と比べた増減の状況を表しています。

・ 安全で快適な交通環境への取組の強化

黒山東地区・西地区の大型商業施設開業に伴い、交通量の増加が予想されており、国道 309 号や周辺道路の交通環境に対する区民の関心は高くなっています。

鉄道・駅舎がない美原区においては道路交通環境の確保は、まちの安全、安心に大変重要であり、区民、企業、行政などみんながつながり、意見を出し合い、安全で快適な交通環境への取組を進めます。

<主な取組事例>

<p>○ 地域住民の安全確保への環境整備</p> <p>大型商業施設への交通対策として看板や信号機の設置や出入口への進路、車線の確保</p> <p>○ 堺市都心部からの交通環境の整備</p> <p>東西交通の確保に向けた SMI 実証実験と来訪誘致に向けたイベントの実施</p>

<KPI の検証>

コロナ禍の影響で一時的に利用者数が減少しましたが、その後の収束に伴い、利用者数がコロナ禍前よりも増加しました。美原都市拠点の大型商業施設開業が増加要因として考えられます。

KPI	計画策定時の値	目標値	最新値
美原区域路線バス利用者数	2020 年度 年間 56.2 万人	2025 年度 年間 70.0 万人 以上	 2024 年度 年間 81.1 万人

※最新値の矢印は、ビジョン策定時の値と比べた増減の状況を表しています。

○基本方針 2 : 「魅力的で訪れたいくなる」

関連するSDGsの目標



・ 企業へのアプローチによる地域経済力の強化

堺市の東の玄関口である美原区は古くから南河内地域の交通の要衝で、物流産業などの企業が進出したい魅力的な場所であり、また、堺市内陸部唯一の工業専用地域である大阪木材工場団地を有しています。このような立地を生かして、企業に対して美原の産業魅力を積極的にアピールします。

また、美原都市拠点では開業予定の大型商業施設や堺市総合防災センター、文化会館、博物館、図書館、警察署、区役所など人が集まる施設が多くあり、地域、企業、行政などが協働して都市機能を充実させ、来訪者の増大により地域経済力の強化を図ります。

・ アフターコロナを見据えた魅力の発信

美原区は緑が多く残り農業基盤も充実し、歴史文化の豊かな落ち着いた街並みを有しています。

また、美原都市拠点の大型商業施設開業により買い物や食事、レクリエーションなど美原区内でほとんど済ませることが可能となるなど美原区の魅力は増えています。

テレワークが普及した現代社会において必要な施設がコンパクトにまとまっている都市は生活しやすいといえます。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後は、多くの人々が訪れたいように ICT 時代に即した環境整備を進め、イベントなどを通じて多くの人に歴史文化資源などに加え、美原都市拠点から生まれる新たな魅力を発信します。

<主な取組事例>

○大型商業施設との連携

- ・堺市美原町合併 20 年記念事業として、コンサートを開催
- ・ららぽーと堺行政連携コーナーで、みはら芸術展の作品展示、絵本読み聞かせ会等を実施

・ららぽーと堺スタジアムコートで、こどもや大人が参加できるイベントを実施

○SNSによる魅力の発信

- ・令和4年2月、地域SNSアプリピアッツァを開設（令和7年5月末時点 東・美原区エリア登録者数 1,036人）
- ・令和5年3月、Instagramを開設（令和7年5月末時点 フォロワー数 692人）

<KPIの検証>

美原都市拠点の大型商業施設開業により、美原区民の買い物や食事などの利便性が高まりました。

KPI	計画策定時の値	目標値	最新値
美原区内で買い物や飲食のほとんどを行っている人の割合	2018年度 22.5%	2025年度 45.0%以上	2024年度 39.9%

※最新値の矢印は、ビジョン策定時の値と比べた増減の状況を表しています。

・ **みんなが主役の情報発信**

美原都市拠点では区民や堺市民のみならず南河内地域などの近隣市町村から多くの人々が集まることが予想されます。美原区を訪れた人や美原区で働く人、学ぶ人など関係する人々がSNSなどを通じてその魅力を発信できる環境整備に努めます。

また、スマートフォンなどで美原区の情報に簡単にアクセスし活用できるよう美原区のホームページなどの充実を図ります。

<主な取組事例>

○SNSによる魅力の発信

- ・指定のハッシュタグ「美原区の魅力」を付けての投稿による魅力の醸成
- ・地域SNSアプリ「ピアッツァ」で投稿を誘発するバナー企画を実施
- ・令和6年度、美原区インスタフォトフェスティバルを実施

<KPIの検証>

パソコン・スマホを使った情報発信を行う人はこの5年間で変化がありませんでした。区役所のSNSを使った地域を巻き込む魅力的な情報発信が、より一層必要と考えます。

KPI	計画策定時の値	目標値	最新値
パソコン・スマホを使った情報発信を行っている人の割合	2018年度 8.2%	2025年度 16.0%以上	2024年度 8.2%

※最新値の矢印は、ビジョン策定時の値と比べた増減の状況を表しています。

○基本方針3：「やってみたいが実現できる」

関連するSDGsの目標



・ 相互理解を深めチャレンジや自己実現を支え合える環境整備

みんなのつながりによりすべての人が自身のしたいことに挑戦できるよう、自由で人権に配慮した意識の醸成に努め、自身の知識や経験を活かせる場や学びの場が見いだせるよう、みんなでつながり活躍できる場の創出に努めます。

また、区内学校等との交流・連携の拡大をめざします。

なお、インターネットやコミュニケーションアプリなどを活用し、子育て世代など若い人も利用しやすいよう地域での情報共有に取り組みます。

<主な取組事例>

○自治会加入促進

- ・転入者へのパンフレット配布
- ・みはら区民まつり等での啓発活動
- ・ホームページや広報紙による活動紹介

○地域活動の支援

- ・地域全体を支える自主的な活動団体や、それを構成する自治会等との協働・連携の関係を継続
- ・地域の魅力やつながりが減退することのないよう、地域での活動を支援

<KPIの検証>

目標には達せず、計画策定時よりやや低迷しています。更なる自治会等への加入促進対策が必要と考えます。

KPI	計画策定時の値	目標値	最新値
自治会や子ども会、老人会、各種サークルなどに加入して地域の方と一緒に活動している人の割合	2018年度 39.0%	2025年度 50.0%以上	2024年度 37.8%

※最新値の矢印は、ビジョン策定時の値と比べた増減の状況を表しています。

・ 地域の持続的な発展を支える仕組みの創出

今後、人口減少社会を迎え地域社会・経済の縮小などが懸念される中、イノベーションを積極的に取り入れ、民間投資の誘導などにより経済成長の促進に努めます。また、脱炭素社会に向けた取組を推

進し、環境にも配慮した区域の形成に努めます。

みんなでつながり健康や暮らしを守りながら未来に向けて夢や希望を実現できるよう、みんなが参画し主体的に地域課題を解決する持続可能な区域をめざします。

<主な取組事例>

○美原区子育てキラキラプロジェクト事業

- ・趣味 Club…保護者の趣味に焦点をあてた交流事業を実施し、自主的なサークル活動を支援
- ・美原区子育て応援わくわく MAP…地域の子育て資源（サークル情報含む）を掲載したマップを作成
- ・サークル支援…ママキッズ（サークル連絡会）を開催

○地域が主体となり、みんなが参画する場の創出

- ・子育て支援活動に取り組む団体によるイベントの開催

○健康増進に向けた場の創出

- ・各地区・老人福祉センターで自主活動グループが「いきいきかみかみ百歳体操」を実施拡大

<KPIの検証>

SDGsの取組を一つ以上している人の割合は、目標値に達しませんでした。SDGsをさらに理解してもらえるような取組が必要と考えます。一方、自主活動グループによる活動事例は、子育てサークルやボランティアなどの活発な取組があり、コロナ禍の収束後も確実に増加し目標を上回りました。

KPI	計画策定時の値	目標値	最新値
SDGsの取組を一つ以上している人の割合	—	2025年度 50.0%以上	2024年度 30.8%
自主活動グループによる活動事例	—	2025年度 累積5事業以上	2024年度 23事業